

改訂版【JPA木質ペレット品質規格】品質基準（2023.7.1改訂）

		JPA(一社)日本木質ペレット協会品質基準 2023年4月1日改正版			JAS引用測定試験
項目	単位	A1	A2	B	
原料の起源と由来		樹幹木部、根を除く全木、林地残材、化学処理されていない木材加工工場からの副産物または残材(※a)、樹皮			
直径 D	mm	D06, 6±1 ; D08, 8±1			JAS0030附属書C
長さ L ※b	mm	3.15<L≤40, L>40mmは1w-%以下、最大長は45mm以下			JAS0030附属書C
かさ密度 BD ※c	kg/m ³	600≤BD≤750			JAS0030附属書K
水分(湿量基準含水率) M	w-% 到着ベース	M≤10			JAS0030附属書E JAS0030附属書F
微粉率 F ※d	w-% 到着ベース	F≤1.0			JAS0030附属書I
機械的耐久性 DU	w-% 到着ベース	D006:DU≥98.0 D008:DU≥97.5	DU≥97.5	DU≥96.5	JAS0030附属書H
発熱量 Q	高位発熱量	記載なし			-
	低位発熱量	Q≥16.5(又はQ≥4.6kWh/kg)			JAS0030附属書J
添加物(バインダーなど)※e	w-% 到着ベース	≤2(種類及び量を記載)			-
灰分 AC ※f	w-% 無水ベース	AC≤0.7 ※g	AC≤1.2	AC≤2.0	JAS0030附属書G
硫黄 S	w-% 無水ベース	S≤0.04	S≤0.05		JAS0030附属書M
窒素 N	w-% 無水ベース	N≤0.3	N≤0.5	N≤1.0	JAS0030附属書L
塩素 Cl	w-% 無水ベース	Cl≤0.02		Cl≤0.03	JAS0030附属書M
灰の熔融挙動 ※h	°C	記載することが望ましい			JAS0030附属書O
重金属	ヒ素 As	mg/kg 無水ベース	≤1		JAS0030附属書N
	カドミウム Cd	mg/kg 無水ベース	≤0.5		JAS0030附属書N
	全クロム Cr	mg/kg 無水ベース	≤10		JAS0030附属書N
	銅 Cu	mg/kg 無水ベース	≤10		JAS0030附属書N
	水銀 Hg	mg/kg 無水ベース	≤0.1		JAS0030附属書N
	ニッケル Ni	mg/kg 無水ベース	≤10		JAS0030附属書N
	鉛 Pb	mg/kg 無水ベース	≤10		JAS0030附属書N
	亜鉛 Zn	mg/kg 無水ベース	≤100		JAS0030附属書N
		注a) 化学パラメータが制限内にある場合は、製材過程で使用される接着剤やグリースなどは無視しても良い。 注b) 円孔径3.15mmのふるいに残るペレットのうち長さが10mm以下のペレット量(w-%)を記載すること。20%以下になることを推奨。 注c) 製品ごとに実際の値を表記することを推奨する。特に小出力の家庭用のペレットボイラーやストーブでは火力調整能力が弱い弱で、出力に大きく関係するかさ密度は重要である。 注d) 計測は、バルク輸送では工場出荷の積み込み時、小袋または大袋では梱包または袋詰あるいはエンドユーザーへ出荷時に行うこと。 注e) 製造、搬送又は燃焼を助けるための添加剤[例えば、プレス(展庄)添加剤、スラグ生成抑制防止剤、デンプン、トウモロコシ粉、ジャガイモ粉、植物油、リグニンなどの添加剤]。 注f) 灰化温度を550°Cとする。 注g) 小出力の家庭用のペレットボイラーやストーブでは、灰分<0.5%を推奨。 注h) 酸化条件における全ての特性温度(灰収縮開始点【SST】、灰軟化点【DT】、灰融解(半球)点【HT】及び灰溶流点【FT】)を記載することを推奨する。なお灰化温度が550°C以外の場合はその灰化温度を記載すること。			